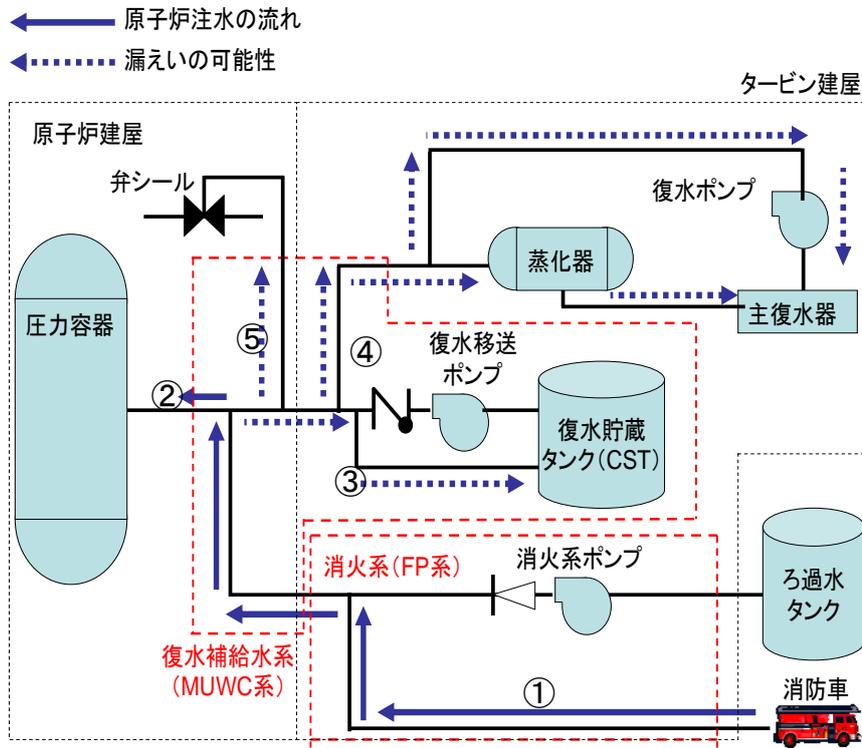
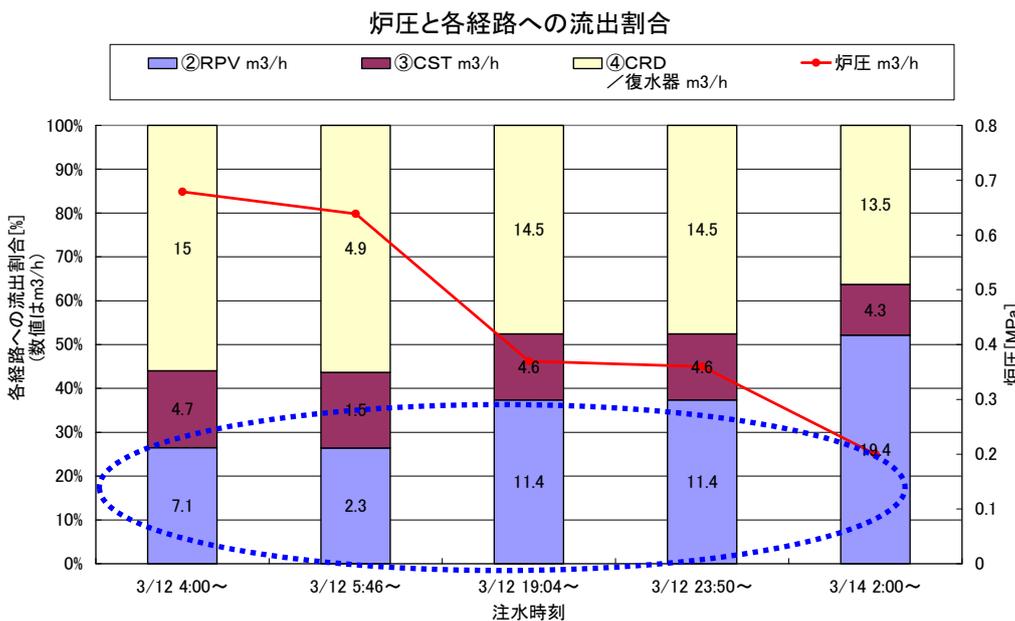


参考①: 消防車による原子炉注水量の精度向上

<参考配布>
平成26年5月1日
東京電力株式会社



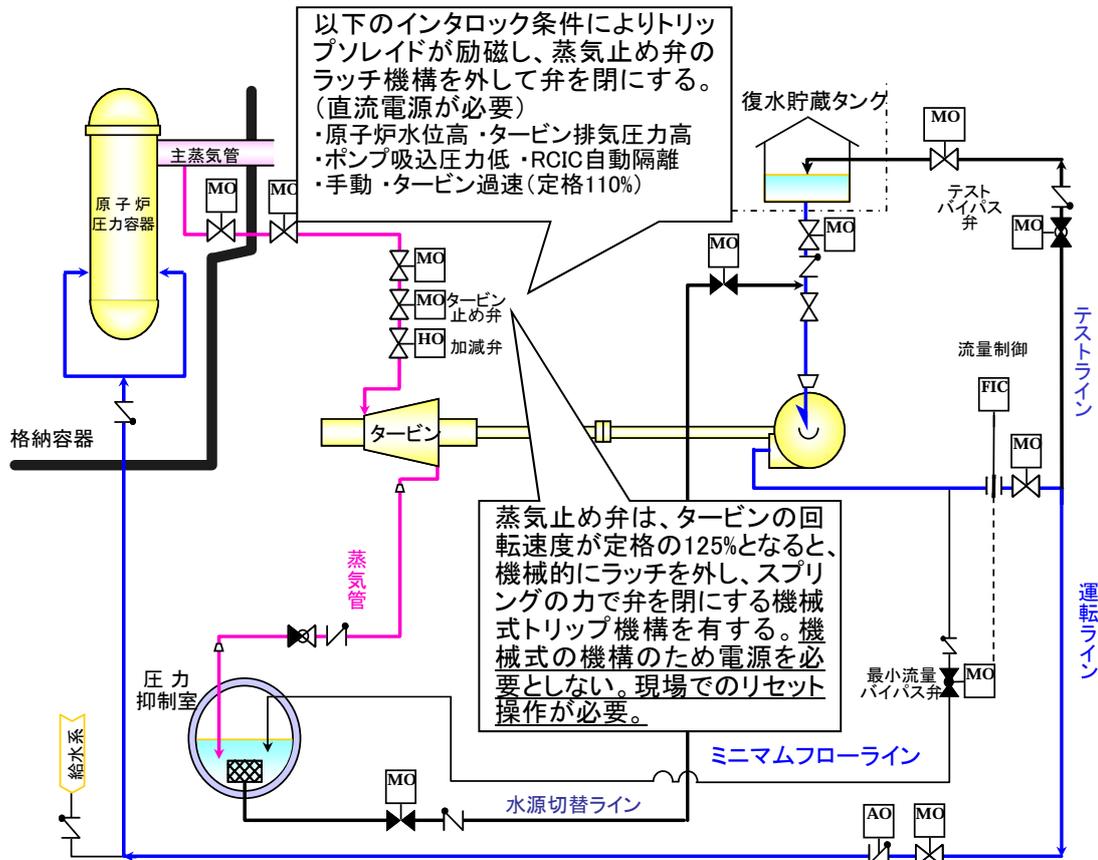
平成25年12月
「福島第一原子力発電所1～3号機の炉心・格納容器の状態の推定と未解明問題に関する検討第1回進捗報告」より(一部追記)



消防車からの吐出圧力(1MPa)を仮定し、各系統における圧力、圧損等を計算。
圧力容器(②RPV)への注水割合が約2~5割と評価

吐出圧力の仮定が成り立たない場合等、一部の時間帯においては、ほとんど原子炉へ注水できていなかった可能性があるが、これまでのMAAPでの評価に使用した注水量よりも、概ね大きいものとなった。

参考②: 3号機原子炉隔離時冷却系(RCIC)の停止原因について



平成25年12月

「福島第一原子力発電所1～3号機の炉心・格納容器の状態の推定と未説明問題に関する検討第1回進捗報告」より

- ・現場確認により機械式トリップ機構は作動した形跡はないこと
- ・3/12 11:36のRCIC停止の時点では、中央制御室でRCICの運転制御や監視はできており、電気式トリップに必要な直流電源は生きていたこと
- ・中央制御室にて蒸気止め弁のリセット操作までできていたこと
- ・リセット操作後、入口弁を開としRCICを再起動させようとすると、再度ラッチが外れて蒸気止め弁が閉となったこと



何らかの電氣的な停止信号が入力され、電気式トリップにより停止した可能性が高い。